

## 平成27年第1回（2月）瀬戸内市議会定例会

### 教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

#### ○ 35人学級対応臨時雇用事業について

少人数学級での教育による学力向上等を目指して、平成27年度から小学校において「35人学級対応臨時雇用事業」を実施します。

文部科学省は少人数学級の推進計画により、小学校6年生までの全学級で35人学級を実施する計画でしたが、小学校1年生のみにとどまっています。岡山県は独自に小学校2年生を35人学級にする学級編成基準を取り入れました。しかしながら、小学校3年生以上の学年では原則として40人学級となっています。

この事業は、市内全小学校において3年生から6年生までのすべての学級を35人以下の学級に編成するものです。これにより1年生から6年生まで35人学級を継続的に実施するための講師を採用し、担任を配置することができます。平成27年度は邑久小学校の3年、4年、6年生の3学年と国府小学校の3年、4年生の2学年が対象となります。

本事業によりすべての学級が35人学級になることで、今まで以上に子どもたち一人一人にきめ細かな指導が可能となり、その結果、学力向上や生徒指導上の諸問題の改善に効果があると考えています。

#### ○ 学校でのICT機器の活用について

昨年8月に学校でのICT機器の大規模な整備を行いました。中でもタブレット型コンピュータを全教諭に配布したことは、岡山県内では先進的な取り組みとして、その活用について注目が集まっているところです。こうした中、昨年8月に3日間開催した教育委員会主催のICT機器活用に関する研修会には、小・中学校の教職員が125人参加しました。また、各学校においてICT機器を活用した授業研究が進められ、ICT機器を活用した教職員の指導力の向上が図られています。それに伴い、授業の中で効果的にICT機器が活用され、子どもたちの学習意欲を喚起して、学習効果の向上が図られてきています。

学校の校務の面においては、平成27年度に校務支援システムを本格稼働することで、学校や児童生徒に関するさまざまな情報の電子化が進められ、教職員の負担軽減や効率化が促進されます。これにより、教師の授業準備や児童生徒に接する時間が確保され、これまでより児童生徒一人一人にきめ細やかな質の高い指導ができることとなります。現在の学力向上に関する課題や生徒指導上の問題の改善策の一つとしてICT機器を積極的に活用していきたいと考えています。

#### ○ 学校力向上事業について

今年度から実施した学校力向上事業では、これまでに各小・中学校において、さまざまな教育上の課題に精通した専門家を学校に招き校内研修を開催したり、県内外の研究推進校を視察したりすることで、それぞれの学校ごとに課題に応じた活用が図られました。来年度はその効果をより高めるために、教育委員会は学校に対して助言をしていきます。

### ○ 体験型授業研究推進事業について

子どもたち一人一人の学ぶ意欲や先生方の指導力の向上を図るため、昨年度から「体験型授業研究推進事業」に取り組んできました。今年度のまとめとして、2月19日に「瀬戸内市教育講演会」を実施しました。算数教育の第一人者である青山学院大学教授 坪田耕三先生をお招きし、市内外から130人を超える先生方の参加がありました。市内の小学生を対象に授業をしていただき、その後、講演もしていただきました。

この事業は、平成27年度も継続して行い、子どもたちの興味・関心を引き出し、学ぶ意欲を向上させる授業づくりをさらに推進していきたいと考えています。

### ○ 学校支援地域本部事業について

学校支援地域本部事業については、市内の小中学校は9校中7校、中学校は3校中2校が実施しており、平成27年度には、牛窓西小学校、行幸小学校、牛窓中学校が事業実施予定です。これにより平成27年度には、市内全ての小中学校で学校支援地域本部事業の取り組みが行われる予定となります。

地域全体で学校を支える体制づくりを促進し、人との関わりの中で子ども達の豊かな人間性を涵養するとともに、地域教育力の活性化を図っていくため、この事業をさらに推進していきます。

### ○ 新図書館整備について

新図書館整備については、去る1月21日、施工事業者の主催により安全祈願祭が挙行されました。当日は、議長はじめ、多くの議員の皆様

にもご参列いただき、誠にありがとうございました。

工事は、本年12月末日で完了し、その後、開館準備作業に入り、平成28年度のできるだけ早い時期に開館したいと考えています。

工事の進行については、安全を第一に、近隣住民の皆様にご迷惑をかけないように、施工事業者等と緊密に連携をし、工期限内に完了するよう全力を尽くしていきます。

#### ○ 岡山フィルハーモニック管弦楽団演奏会について

昨年12月17日に瀬戸内市、教育委員会、文化協会、公益財団法人岡山シンフォニーホールと音楽を通じた地域づくりの包括連携協定を締結しました。協定に基づき、岡山シンフォニーホールが運営する岡山フィルハーモニック管弦楽団を招き、演奏会を2月15日に中央公民館を会場に開催しました。演奏会では市のイメージソング「ふらり瀬戸内いい気持ち」や竹久夢二の詞による歌曲などプロオーケストラの生演奏を楽しみました。

また、演奏会後には中学校の吹奏楽部のほか市内の吹奏楽愛好者への公開レッスンも行われました。

#### ○ 備前長船刀剣博物館の取り組みについて

博物館では本年1月22日から3月22日まで「無骨・粹 尾張の刀剣展 ～尾張刀匠と尾張・柳生<sup>やぎゅうこしらえ</sup>拵」と題し展示を行っています。江戸時代より尾張<sup>おわりのくに</sup>国徳川家を中心に制作された地方色の強い外装である尾張拵<sup>おわりこしらえ</sup>が、参勤交代などで地方から出てきた武士の間でも流行し、全国的に広まり一世風靡しました。また、江戸時代の新刀期以降、尾張藩の

隆盛とともに、多くの尾張刀匠たちの作品が残っています。これら尾張の刀剣展は西日本で初めての開催となり、日本刀文化を紹介する貴重な機会となっています。

また、現在放映中の大河ドラマ「花燃ゆ」の登場人物たちに関する刀剣や、幕末に活躍した刀匠たちのエピソードを交えた「幕末の刀剣展」と題した展覧会を3月26日から5月17日まで開催する予定としています。

#### ○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、12月6日から1月18日に「佐竹徳展～画家が見つめた時間～」において、「時間」をテーマに作品にまつわるエピソードを紹介することで、当館収蔵作品の新たな見方を提供しました。

1月28日から3月1日まで開催の「緑川洋一展」では、裳掛出身の写真家・緑川洋一の生誕100年を記念し、代表作を展示しています。

また、3月10日からは日本洋画界の巨匠「小磯良平展」を開催予定です。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成27年2月23日

瀬戸内市教育委員会

教育長 藤原 一成